



JOPOM8 まとめ

藤崎 智宏

fujisaki@nttv6.net



本日のまとめ

1. 前回までのフォローアップ
 1. (I)WHOISにおける情報公開の現状と今後の課題 (佐藤晋/JPNIC)
 2. (I)歴史的経緯を持つPIアドレスへの取り組み (佐藤香奈枝/JPNIC)
 3. (I)PKIを用いた認証強化実験 (木村泰司/JPNIC)
2. JPNIC IPv6ポリシーレビュー
 1. (I)JPNIC IPv6ポリシー紹介 (穂坂俊之/JPNIC)
 2. (I)ポリシーレビュー (ポリシーWG)
3. (P) IX、クリティカルインフラへの割り当て等に関するポリシー提案
4. (I)パネル討論:「IPv6パネル: アドレスポリシ, 標準化等のIPv6の現状と今後」
5. JPNIC 報告
 1. (I)JPNIC Update (佐藤晋/JPNIC)
 2. (I)lame delegationに関する調査開始のお知らせ(小山祐司/JPNIC)
 3. (I)JPIRRサービスの正式化について(川端宏生/JPNIC)
 4. (I)IPv4割り振りアドレスの運用調査結果(奥谷泉/JPNIC)
6. 世界動向
 1. (I)WSIS とインターネットガバナンス(前村昌紀/JPNIC)
 2. (I)APNIC 19レポート (奥谷泉/JPNIC)

Policy WG

前回までのフォローアップ

WHOISにおける情報公開の現状と今後の課題

■ 概要

- jpopm7でのパネルの後, JPNICにて実施した,
 - 個人情報保護法対応
 - whois システムの変更

についての報告

- WHOISの今後についての課題

■ 今後の進め方

WHOISの今後のあり方について, 議論する場を設ける.
詳細は, ip-users ML にて連絡します.

前回までのフォローアップ

歴史的経緯を持つPIアドレスへの取り組み

■ 概要

- JPOPM6で提案のあった、歴史的PIに関する取り組みについてのその後の報告
 - 62%程度が未報告
 - 全体の44%が連絡不達
 - 今後、いろいろな手段で連絡をしていく

■ 質疑等

- (会場から)PIを持っているお客様から、JPNICから連絡をもらっていないという話あり。Webに、今後の連絡先等についての情報が欲しい。また、現在未達の連絡先についての連絡方法についても検討して欲しい。

対象者への連絡方法、及び、Webページの内容について、JPNICにて検討する。

Policy WG

前回までのフォローアップ

PKIを用いた認証強化実験

■ 概要

- 従来, パスワードベースでの認証を実施していたIPレジストリシステムに, クライアント証明書による認証方式を導入
 - 今後, 実験をしていくので, 参加者求む

■ 質疑等

Q: あと2年くらいかかりそうな線表だが、世界の現状もふまえ、実現可能となる目算はあるか。

A: 電子証明書を使ったことのない人もいるので、現在のところは実験ベース。いろいろ試していただきたいと思っている。

指定事業者の実験参加者を募集中

Policy WG



JPNIC IPv6ポリシーレビュー

JPNIC IPv6ポリシー紹介・ポリシーレビュー

- 概要（JPNIC IPv6ポリシー紹介）
 - 5月に施行されている, JPNICのIPv6アドレス配布ポリシーの紹介
 - 基本的にはAPNICのポリシーと同一だが, 違う点を中心に紹介
 - ワーディング(LIR→指定事業者 など)
 - 再割り振りの際のWHOIS登録, WHOIS登録情報付録の削除

Policy WG

■ ポリシーWGレビュー

- ワーディングにはそれほど問題なし

- 問題点:

- 経緯を書いた付録を削除したのは良くない
- 指定事業者からの二次割り振りのDB登録は必要では？
- WHOIS情報のあり方についても要検討

- 変更点は、ドキュメントとして残すべき(削除した部分, APNICポリシーからの変更部分)
- 二次割り振りのDB登録問題は、引き続き、要検討
- WHOIS問題も、JPNIC WHOISに併せて要検討



IX、クリティカルインフラへの割り当て等に関するポリシー提案

- 概要

- 以下の二点に関するポリシー提案

1. IPv4

- IXに対する割り振りブロックの経路制御性について、APNICのポリシーにあわせて変更する
- APNIC: IX事業者と利用者に委任
- JPNIC: 基本的に禁止 → IX事業者と利用者に委任

2. IPv6

- APNICのIPv6ポリシーに追加された、IX割り当て、及びクリティカルインフラストラクチャに対する割り当てを、JPNICのIPv6ポリシーに反映する

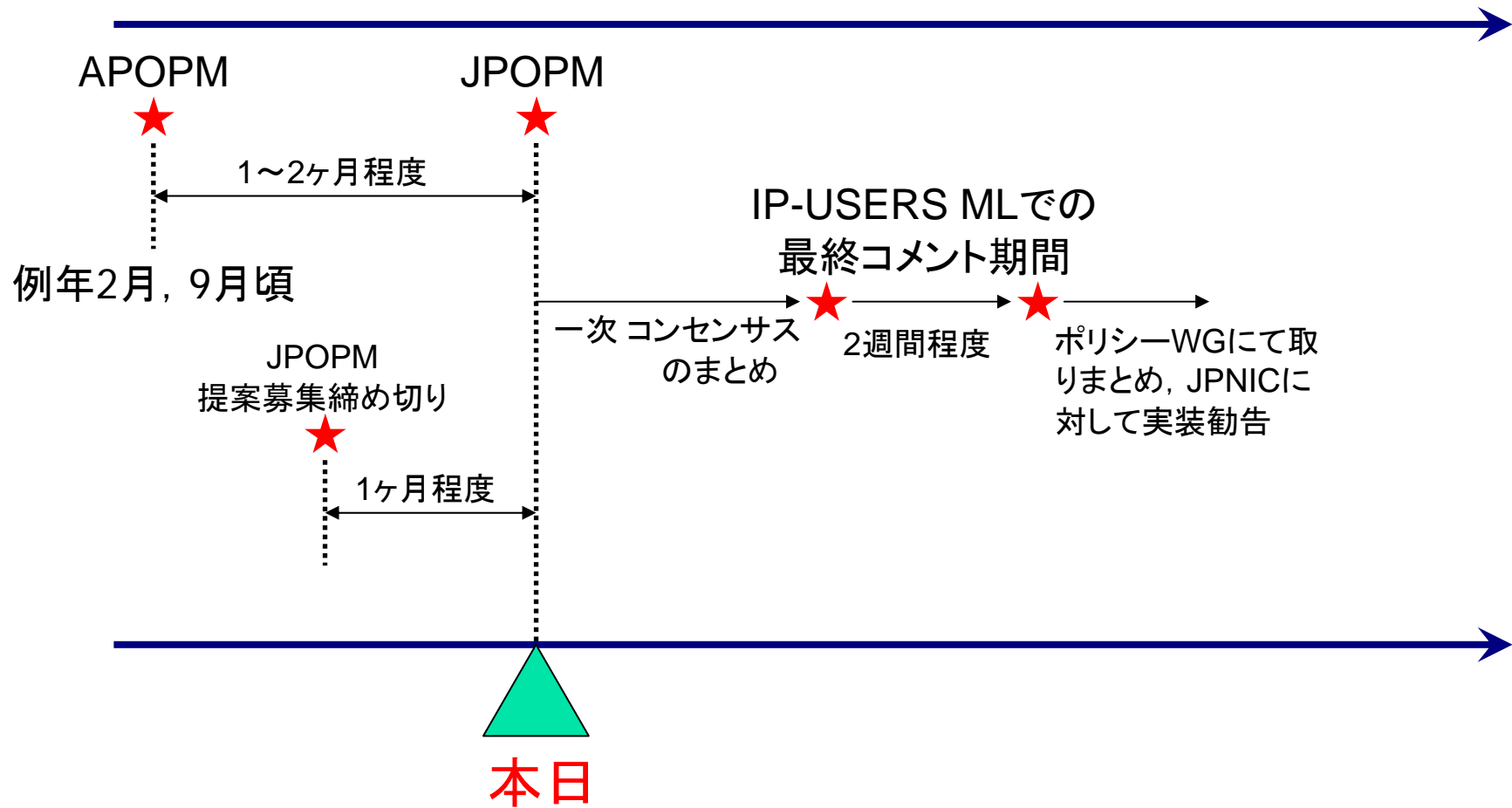
コンセンサス

1. IPv4: 「事業者と利用者」の文言を以下のように変更することで、提案了承

「このプロバイダ非依存アドレス割り当てに対するグローバルなルータビリティは、IXPの裁量に委ねられる。」

2. IPv6: IXについては、IPv4と同じ変更、クリティカルインフラについては、あり得る割り振り以外を削除することで、提案了承

提案の今後の流れ



Policy WG



パネル討論:

IPv6パネル: アドレスポリシー, 標準化等のIPv6の現状と今後

- IPv6のアドレスポリシーの現状, 及び今後の方向性に対する意見交換
- モデレータ: (伊藤公祐/キヤノン)
 - RIRコミュニティでのIPv6ポリシートピック(穂坂俊之/JPNIC)
 - IPv6ポリシーの技術的側面(藤崎智宏/NTT)
 - ISPの立場から見た現在のIPv6アドレスポリシー(吉田友哉/NTTコム)
 - IPv6アドレス利用について(大石憲且/ネクステック)

- 海外のRIRに対し, HD-Ratio議論から派生したIPv6アドレス節約議論については, 日本では節約は必要ないという意見が多いことをJPNICを中心にインプットしていく
- PIやULAについては, 今後の推移を適宜情報提供していく
- 新しいアドレスの使い方や, PIの必要性などの話題に対し, ポリシーの必要性などもWGとしても取り組んでいくのでご相談ください。

Policy WG



JPNIC 報告

1. JPNIC Update
2. lame delegationに関する調査開始のお知らせ
 - 調査内容について, 統計を12月に報告予定
3. JPIRRサービスの正式化について
 - 今年の秋を目処に, 試験サービスから正式サービスへ.
 - 費用についても検討中
 - 現サービスの認証強化
4. IPv4割り振りアドレスの運用調査結果
 - HD-Ratio をIPv4に適用する際の前提条件確認調査
 - ISPのサイズと, ネットワーク構成, アドレス集約などの調査



世界動向

1. WSIS・WGIGとインターネットガバナンス

- 変なことが決まりそうになったら、止めないといけないので大変
- アドレス管理議論 (NRO vs. ITU)
- ICANN問題

Q: 今後のアップデート情報の提供方法

A: ガバナンス報告ミーティング, 及び12月のIW
で報告予定.

2. APNIC 19レポート



まとめ

- 本日は長い時間、最後までおつきあい頂きましてありがとうございました。
- ポリシーに関する議論は、
ip-users@nic.ad.jp
にお願いします。
- ポリシーWGに関連しますご質問、ご要望は、
jpopf@venus.gr.jp
まで、お願いいたします。

Policy WG